

平成29年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択必修】学校を巡る近年の状況の変化・法令改正及び国の審議会の状況等

クラスCD	ロ-101・ロ-401	開講日	5月27日(土)・10月21日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	近年における学校、法令改正及び国の審議会等の状況	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	加藤 崇英 (かとう たかひで) 照屋 翔大 (てるや しょうた)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>・教育の内容に関わるものから、学校組織や教育行政・教育委員会に関わるものまで、とりわけ2000年代以降の法令改正及び国の審議会の状況等を中心にその展開を明らかにする。</p> <p>・今日、子どもの問題・課題が複雑化・多様化するなかで、これに取り組むべく、教育改革が展開されている。学校をめぐる近年の状況の変化について検討していく。</p>		
到達目標	<p>・近年の教育関連の法令改正及び国の審議会の状況等の流れについて理解できる。</p> <p>・子どもの抱える複雑化・多様化する背景を踏まえ、学校の状況と課題を理解できる。</p>		
受講者への事前連絡事項	<p>近年の教育関連の法令改正及び国の審議会の状況などで、分からないところやお知りになりたいことなど、事前にお考えいただければ幸いです。</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

**【選択必修】様々な問題に対する組織的対応の必要性・学校における危機管理上の課題**

クラスCD	ロ-103・ロ-203	開講日	5月27日(土)・8月6日(日)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	学校における組織的対応と 危機管理上の課題	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	照屋 翔大(てるや しょうた) 加藤 崇英(かとう たかひで)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>・今日の学校は、いじめ問題をはじめ、多くの課題を有するなかで組織的対応が課題となっている。本講習は、とりわけ今後の「チーム学校」としての組織のあり方と対応、そこでの教職員・学校の課題を明らかにする。</p> <p>・子どもの命に関わる課題が重要性を増している。いじめや体罰の問題、不審者対策や学校における事故防止、アレルギー対応など、危機管理の対象や範囲は広がっている。東日本大震災以降、いっそう大きな課題となっている危機管理について、視点と課題を明らかにする。</p>		
到達目標	<p>・学校が組織として対応することの重要性と必要性を踏まえて、そこでの課題を理解できる。</p> <p>・学校における危機管理の対象や範囲を踏まえて、視点と課題を理解できる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>ご自身の学校における危機管理対策、いじめ等に対する組織対応など、関連する資料を確認いただいたり、参照できるように、ご負担の少ない範囲で、ご持参くだされば幸いです。</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】教育相談1

クラスCD	ロ-106	開講日	5月27日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	教育相談の基礎	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	丸山 広人(まるやま ひろと)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	さまざまな不応問題(不登校・いじめ・発達障害を中心とする)を対象にして講義する。まずはこれらの問題を予防する観点から講義を始め、その後、それぞれの問題に対する基本的な理解と対応について事例を交えながら考えていく。様々な学校種が入り交じったグループで事例を考えていく演習も取り入れた内容となる。		
到達目標	不応問題(不登校・いじめ・発達障害)における課題と対応の基本について理解することができる。		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】進路指導及びキャリア教育

クラスCD	ロ-109	開講日	5月27日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	現代キャリア教育理論と教育実践	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	青柳 路子 (あおやぎ みちこ) 望月 厚志 (もちづき あつし)	所 属	大学院教育学研究科 教育学部
主な受講対象者	幼稚園教諭を除く全教員	担当時間	6
講習内容	<p>進路指導及びキャリア教育の基礎理論と最新理論を紹介するとともに、わが国の進路指導とキャリア教育の政策・施策についての理解を深める。また、教育実践事例について考察する。これらを通じて、今後の進路指導・キャリア教育について考察を深める。</p> <p>1) 学校教育(小学校・中学校・高等学校)におけるキャリア教育の歴史と法令                  2) キャリア教育実践事例の検討。(講義・演習・グループワーク)                  3) 進路指導及びキャリア教育の基礎理論の紹介。(講義)                  4) 現代日本社会のキャリアをめぐる諸問題と今後の課題。(講義)                  5) 今後の進路指導とキャリア教育の考察。(まとめー講義)</p>		
到達目標	<p>1) 進路指導及びキャリア教育の基礎と最新理論について理解する。                  2) キャリア教育実践の方法論を考えることができる。                  3) 現代日本社会のキャリアをめぐる諸問題から今後の進路指導とキャリア教育について考察を深める。</p>		
受講者への 事前連絡事項	資料及び映像資料を用いて講義・演習・グループワークを行う。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択必修】学校、家庭及び地域の連携及び協働

クラスCD	ロ-110	開講日	5月27日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	学社連携・学社融合論とその教育実践	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	望月 厚志 (もちづき あつし) 青柳 路子 (あおやぎ みちこ)	所属	教育学部 大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>現代社会の教育目標は「学習社会」を構築することにある。そのためには、生涯学習の考え方に基づいた教育活動が行われる必要がある。その教育活動・実践の一つが学校教育と社会(教育)との連携である。本講習では、学校と社会との間の連携をいかにしてはかるのかという問題について、最新の状況を含めて考察する。</p> <p>1) 学校教育と社会(教育)との関係の理論的理解と課題。(講義)                  2) コミュニティスクールやチーム学校の役割と課題。(講義)                  3) 従前の学校外活動の実践例と事例検討。(講義・演習・グループワーク)                  4) 学校教育と社会との連携協力の課題。(講義)</p>		
到達目標	<p>1) 「学社連携・学社融合」(学校教育と社会との関係)の理論について理解する。                  2) 従前の学校外活動の実践例の事例検討をもとに、各自の教育実践を再考する。                  3) コミュニティスクールやチーム学校の役割と課題について理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	資料及び映像資料を用いて講義・演習・グループワークを行う。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

**【選択必修】道徳教育**

※この講習を受講する方は【選択】ニ-112、ニ-312、ニ-412を受講することができません。

クラスCD	ロ-111・ロ-311・ロ-411	開講日	5月27日(土)、8月19日(土)、10月21日(土)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	道徳教育の今日的課題と実践	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	生越 達 (おごせ とおる)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6
講習内容	<p>道徳教育に焦点を当て、その今日的意義や実践の充実を図るための内容・方法等について検討する。今日の児童・生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、道徳教育のもつ役割を理解するとともに、道徳教育の実践をより充実したものとするための実践上の課題、学校組織全体として道徳教育の実践の充実を図る上で求められる点等について検討する。</p> <p>(1)道徳教育の今日的意義と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における人間形成の在り方と課題</li> <li>・道徳教育の今日的意義と課題</li> </ul> <p>(2)道徳教育の実践の充実に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の改訂と道徳教育</li> <li>・道徳教育の実践の充実と他の教育活動との関連</li> <li>・学校全体での運営・実施体制の充実</li> </ul>		
到達目標	<p>(1)子どもたちの規範意識や学ぶ意欲の低下、さまざまな問題行動の背景にある社会の問題を理解する。</p> <p>(2)現代社会を生きる子どもたちにどのような道徳教育を行っていくことが必要なのかを理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。